

## 平成30年 第13回別海町教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 平成30年11月2日(金)  
午前10時00分から午前10時40分まで
- 2 開催場所 別海町役場 町議会第2委員会室
- 3 出席者 (3名)  
教育長 伊藤多加志  
教育委員 大塚保男  
教育委員 木村江里
- 4 出席職員 (13名)  
部長 山田一志  
部次長 石川誠  
指導主幹 住吉幹城  
学務課長 入倉伸顕  
学務課主幹 谷村将志  
学務課主査 佐藤亮  
学務課主査 大山晋作  
生涯学習課主幹 佐々木いづみ  
生涯学習課主査 立澤雅彦  
中央公民館副館長 浦山佳代子  
西公民館長 田村康行  
東公民館長 福原義人  
図書館長 千葉宏
- 5 議事日程  
議案第1号 別海町特別支援教育就学奨励費補助規則の一部を改正する規則の制定について  
議案第2号 平成30年度別海町文化功労者表彰被表彰者の決定について  
議案第3号 平成30年度別海町スポーツ功労者表彰被表彰者の決定について  
協議案第1号 第4次別海町社会教育中期振興計画の策定に伴う諮問について

### —【開 会】—

伊藤教育長

ただいまから平成30年第13回の別海町教育委員会議を開会いたし

ます。

本日の出席者は3名ですので、別海町教育委員会会議規則第5条の定足数に達していますので、会議は成立いたします。

それでは、開会にあたりまして私から一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多用の中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

ご存知のとおり、10月7日に行われる予定でした第40回別海町パイロットマラソンは、台風25号の影響で大変残念でしたが中止とさせていただきます。

出場される予定でした選手の皆様をはじめ、大会関係者、たくさんのボランティアの皆様、町民の皆様には、大変ご迷惑、ご心配をおかけしました。

準備期間中、たくさんの方々に支えられてきましたことに、あらためて感謝申し上げます。

うれしいニュースがありました。

野付中学校PTAが、平成30年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。

11月21日水曜日、東京で表彰式が行われます。

また、中央公民館も、平成30年度優良公民館表彰、文部科学大臣表彰を受賞しました。

表彰式は、本日、東京都内で行われます。

内山館長が出席しています。

さて、11月となりました。

今年もあと2か月ほどとなりました。

各学校では、学芸会、学校祭、文化祭が行われました。

また、中央、西、東公民館や各地域の文化祭が行われています。

各学校の学校だよりやブログを見ると、子どもたちが一生懸命に取り組み、保護者、地域の方々に感動を与えたことが伝わってきました。

また、昨日は、第37回別海町小、中、高校合同音楽祭が2日間におたって開催されました。

子どもたちの発表、そして、子どもたちの鑑賞態度もとても素晴らしいものでした。

一生懸命に取り組み、頑張っている子どもたちの姿は、見ている人たちに感動を与え、元気を与えてくれます。

各学校では、いろいろな形で学校から地域への発信に取り組んでいます。

これからも、コミュニティ・スクールの理念の一つである学校を核と

した地域づくりを目指していきたいと思います。

それでは、本日の日程に入ります。よろしくお願いいたします。

－【前回会議録の承認】－

伊藤教育長

それでは日程第2前回会議録の承認に入ります。

平成30年第12回の会議録について、事前に各委員さんに事務局から送付しておりますので、訂正御意見等ありましたら発言をお願いいたします。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

なければ平成30年第12回の会議録について、承認することとしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

伊藤教育長

平成30年第12回の会議録について承認することといたします。

－【報告】－

伊藤教育長

日程第3報告に入ります。

9月7日に開催しました第12回教育委員会議から本日までの行事や実施事業等について事務局から報告願います。

教育部長

それでは、私のほうから9月7日金曜日に開催されました、第12回教育委員会議以降から本日までの主な行事や実施事業等について報告いたします。

まず、9月7日金曜日午後1時30分から、第12回教育委員会議が行われました。

次に、9月9日日曜日に行われる予定でした第54回別海町駅伝競走大会兼第22回別海町女子駅伝競走大会は中止、第46回別海町中学校駅伝競走大会は延期となりました。

9月10日月曜日午前10時から、第6回全員協議会が行われました。

9月11日火曜日から14日金曜日まで、平成30年第3回別海町議会定例会が開催されました。

9月13日木曜日、総務文教常任委員会が行われました。

9月14日金曜日午後1時30分から、定例校長会議が行われました。

9月15日土曜日から16日日曜日にかけて、別海町農村広場におきまして第49回別海町産業祭が開催されました。

9月15日土曜日、第46回別海町中学校駅伝競走大会が開催されました。

同日、午後6時からマルチメディア館におきまして、別海くるみ幼稚園創立60周年記念講演会が行われました。

9月15日から10月8日にかけて、北海道立釧路芸術館におきまして、「わが町のお宝展 別海町から」が行われました。

9月22日土曜日、上西春別小学校、上西春別中学校におきまして、上西春別学校区教育フェスティバルが開催されました。

9月25日火曜日午前10時から、別海町パイロットマラソン第2回実行委員会が行われました。

同日、中標津町役場におきまして、午後2時30分から第2回根室管内学校における働き方改革推進会議、午後3時50分から第2回根室管内公立小中学校教職員人事推進会議が行われました。

9月27日木曜日、秋田県横手市の伊藤孝俊教育長様他4名の先生方が来町されました。

9月28日金曜日、別海中央小学校と上西春別中学校において、横手市の先生方によるスーパーティーチャー研修会が行われました。

9月30日日曜日、町民体育館におきまして、遊ぼっとスポーツ in 別海が開催されました。

10月1日月曜日午前11時から、第7次別海町総合計画第1次実施計画策定に係る第1回予算編成等対策会議が行われました。

10月2日火曜日午後1時30分から、定例校長会議が行われました。

10月3日水曜日、西春別中学校におきまして、横手市視察公開授業が行われました。

10月4日木曜日、別海中央中学校におきまして、横手市視察公開授業が行われました。

10月5日金曜日、台風25号の影響により第40回別海町パイロットマラソンの中止を決定しました。

10月6日土曜日、中西別小学校学芸会が開催されました。

10月10日水曜日午後1時30分から、定例教頭会議が行われました。

10月11日木曜日午前10時から、旧奥行臼駅通所保存修理工事完了内覧会が行われました。

10月12日金曜日午前9時から、町長室におきまして粥川一芳教育委員の辞令交付が行われました。

10月13日土曜日午前11時から、旧奥行臼駅通所保存修理工事完了見学会、午後2時から奥行会館におきまして、旧奥行臼駅通所保存修理工事完了報告会が行われました。

同日、西春別小学校学芸会、上風連小学校学芸会、上西春別小学校学習発表会、上春別小学校学芸会、中西別中学校学校祭が開催されました。

10月14日日曜日、野付小学校学芸会、中春別小学校学芸会が開催されました。

10月15日月曜日午前10時30分から、別海町パイロットマラソン

ン第3回実行委員会が行われました。

同日、午後1時30分から第1回別海町総合計画策定会議が行われました。

10月20日土曜日、西春別中学校文化祭、上西春別中学校文化祭、上風連中学校文化祭、中春別中学校文化祭が開催されました。

同日、札幌市におきまして、平成30年度札幌・別海ふるさと会第27回定期総会が開催されました。

10月21日日曜日、別海中央小学校学芸会、野付中学校文化祭が開催されました。

10月22日月曜日午前10時から、第7回全員協議会が開催されました。

10月24日水曜日午前9時から、平成30年度行政監査の結果に係る審査報告書の提出、平成30年度定期学校監査の結果に係る審査報告書の提出が行われました。

同日、午後1時から平成30年度第3回別海町社会教育委員の会議兼ねて別海町公民館運営審議会が行われました。

10月25日木曜日午後1時から、札幌市におきまして、北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会が行われました。

10月26日金曜日午後3時30分から、野付小学校におきまして、野付学区幼小中交流研、学校出前トークが行われました。

10月27日土曜日から翌日にわたりまして別海中央中学校学校祭、27日土曜日に上春別中学校学校祭が開催されました。

10月29日月曜日、上西春別中学校校舎・講堂防音事業完成に伴う理事者視察が行われました。

同日午後4時30分から、別海高等学校酪農経営科海外派遣事業参加に伴う表敬訪問がありました。

10月30日火曜日、別海中央小学校におきまして、別海高校生産野菜を活用した「べつかいきゅうしょく」の試食が行われました。

10月31日水曜日12時30分から、中央公民館におきまして、第37回別海町小、中、高校合同音楽祭、中学校、高校の部が開催されました。

同日16時から、事業説明で、中央公民館、西公民館、東公民館分が行われました。

11月1日木曜日午前10時30分から、第2回別海町総合計画策定会議が行われました。

同日午後1時から、中央公民館におきまして第37回別海町小、中、高校合同音楽祭、小学校の部が開催されました。

同日午後3時30分から、事業説明で、図書館、郷土資料館、学校給食センター分が行われました。

以上で報告を終わります。

－【議 事】－

伊藤教育長

それではこれから日程第4議事に入ります。

議案第1号別海町特別支援教育就学奨励費補助規則の一部を改正する規則の制定について、事務局から説明願います。

学務課主幹

議案第1号別海町特別支援教育奨励費補助規則の一部を改正する規則の制定についての内容について説明いたします。

議案書の1ページをお開き願います。

本規則につきましては、学校教育法第19条の規定に基づいて、経済的理由によって就学が困難と認められる児童及び生徒の保護者に対して、必要な援助について定め、就学援助の対象者として、生活保護法第6条第2項に定める要保護者、また、要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる準要保護者のうち特別支援学級在籍児童生徒に対して、必要な補助を行っております。

昨年8月31日に開催されました第9回教育委員会議において、要保護児童生徒援助費補助金に係る一部改正に伴い、別海町就学援助規則の一部改正を行ったところですが、この度、平成30年3月28日付け文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長通知及び平成30年4月24日付け北海道教育庁学校教育局特別支援教育課長通知において、平成30年4月1日より特別支援教育就学奨励費のうち、新入学児童生徒学用品、通学用品費に係る国庫補助対象限度額の改正が行われたことから、所要の改正を行うものであります。

それでは、議案本文の朗読は省略させていただき、主な改正内容について、別冊の議案資料の新旧対照表にてご説明しますので、議案資料の1ページをお開き願います。

議案資料1ページの新旧対照表ですが、右側が改正前、左側が改正後、下線部分が改正箇所となります。

改正内容につきましては、改正後の欄にて説明をさせていただきます。

国の特別支援教育就学奨励費の補助率は保護者実費額の2分の1となっており、この2分の1の補助限度額が小学生では現行の10,235円から20,300円に、中学生では現行の11,775円から23,700円にそれぞれ増額改正されたことから、補助金額を算出するうえでの基本となります、表中の左から2つ目の項目の援助金額の欄になりますが、改正後においては、小学生40,600円、中学生47,400円とそれぞれ改正を行うものです。

なお、対象学年、支給月につきましては、現行のままとして、今回、改正を行ってはおりませんが、附則としまして、下段の表外の記載の箇所になりますが、この規則は公布の日から施行し、平成30年4月1日から適用することとしており、既に本規則に基づいて、本年度支給されている児童生徒に対しては、改正前との差額分の援助金額につきましては、4月に遡り適用を行い、支給を行う予定をしております。

伊藤教育長

以上で、議案第1号の内容説明を終わります。  
内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

御質問等がなければ採決いたします。  
議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

伊藤教育長

異議がないようですので、議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

生涯学習課主幹

続きまして、議案第2号平成30年度別海町文化功労者表彰被表彰者の決定について、事務局から説明願います。

私のほうからは、議案第2号平成30年度別海町文化功労者表彰被表彰者の決定についての内容について説明いたします。

議案書につきましては、2ページをご覧ください。

議案第2号平成30年度別海町文化功労者表彰被表彰者の決定について、別海町文化功労者表彰規則第6条の規定に基づき、被表彰者の選考について、平成30年10月24日開催の別海町社会教育委員の会議に諮問した結果、別紙のとおり答申があったので、次のとおり被表彰者を決定する。

本年度の被表彰者につきましては、功労賞、個人2名。

奨励賞、個人4名、団体3団体の計9件で、お名前につきましては記載のとおりであります。それぞれの詳細な功績につきましては、議案資料をご覧ください。

議案資料2ページをお開きください。

最初に文化功労賞、個人お一人目、今西茂氏です。

今西氏は、昭和40年代から詩吟に親しみ、昭和51年に故佐藤信夫氏と共に詩吟サークル「別海俊吟会」を設立し、指導者として詩吟の普及に努めるとともに平成27年からは代表を務めてきました。

当時、札幌厚生年金会館で開催された全道詩吟大会に何度も参加、また、別海町内で開催される文化祭などの発表会には長年にわたり出演し

ています。

平成8年から平成28年までは、別海地域文化協会事務局長を務め協会の運営に当たり、更に別海地域文化祭、別海町芸術文化祭、中央公民館まつりに実行委員として参画し、別海町の文化活動を支え続けるなど、別海町の文化の向上、発展に尽くしてきた活動は高く評価されています。

続きまして、資料3ページ、文化功労賞、個人お二人目、寺尾登氏です。

寺尾氏は、昭和56年別海町民謡愛好会に入会、翌57年には別海町三味線愛好会に入会し、工藤信義氏に師事し、唄と三味線の技術習得に努め、同年、釧路地区民謡連合会に加入しています。

その後、平成11年5月に釧路地区民謡連合会準講師、平成17年5月北海道民謡連盟講師、平成19年には準師範、平成21年に師範、平成28年には大師範の認定を受けています。

その間、平成11年釧路地区連民謡選手権大会入賞、平成19年、21年には同大会で優勝をしております。

また、平成14年、平成18年には、釧路地区道新杯民謡大会全国民謡の部準優勝、平成19年、平成20年には同大会北海道民謡の部で優勝しています。

また、平成5年からは、中央公民館まつり、別海地域文化祭の芸能部長として現在まで長きにわたり地区の発展に尽力されるなど、37年間の長きにわたる活動は、別海町の文化及び三味線会のけん引役として多大なる貢献をしておりその功績は高く評価されます。

続きまして、資料4ページ、文化奨励賞、個人お一人目、小林奏氏です。

小林氏は、幼少期から合唱を始め、音楽活動に興味を持ち、別海中央中学校では吹奏楽部でトランペットを演奏、また、学校祭でミュージカルを発表するなど音楽に没頭し、立命館慶祥高等学校では声楽に興味をもち活動を始め、高校3年生からは、愛知県立芸術大学の森川栄子氏のレッスンを受けるため、週末名古屋に通いました。

平成24年愛知県立芸術大学に入学後は、声楽を学びながら広く音楽活動に取り組み、平成25年には、母校である別海中央小学校において、音楽鑑賞会を開いています。

平成28年に大学院へ進学し、平成28年ロシア声楽コンクール第2回プロフェッショナル部門で第3位に入賞し、平成29年10月には第71回全日本学生音楽コンクール北海道大会大学の部で第1位に入賞し、全国大会に出場するなど輝かしい成績を収めています。

次に、資料5ページ、文化奨励賞 個人お二人目、窪田初音さん、町

立中春別中学校3年生です。

窪田さんは、小学校4年生から、中春別小学校リコーダー同好会に入団し、リコーダーの音色に魅了され、毎日欠かさず練習を積み重ね、中学校入学後も努力を続けられ、中学校2年生の平成29年11月、第27回根室管内リコーダーコンテスト独奏の部で金賞を受賞、平成30年1月、第32回全道リコーダーコンテスト独奏の部で金賞を受賞し全国大会出場の推薦を受け、平成30年3月には全日本リコーダーコンテスト独奏の部で銀賞を受賞しています。

続きまして、資料6ページ、文化奨励賞、個人3人目、井出龍杜さん別海町立上春別小学校2年生です。

井出さんは、平成30年3月に日本郵便株式会社が主催する、第15回全日本年賀状大賞コンクールにおいて、80,480点の応募があった絵手紙部門の部で、年賀状大賞6作品に次ぐ文部科学大臣賞を受賞しています。

次に、資料7ページ、文化奨励賞、個人4人目、豊川ねねさん別海町立別海中央小学校1年生です。

豊川さんは、平成30年9月に鹿追町の神田日勝記念美術館が主催する、第24回馬の絵作品展において、全国から応募があった734点の中から13作品が選ばれる入賞のうち帯広信用金庫理事賞を受賞しています。

次に、資料8ページ、文化奨励賞、団体1団体目、西春別踊り愛好会よさこい花翔舞です。

西春別踊り愛好会よさこい花翔舞は、西春別中学校50周年式典において、よさこいを踊ったことをきっかけに、当時長年活動をしていた西春別踊り愛好会の流れを引き継ぐ形で河田由美子氏が代表となり、平成10年6月に会員9名で結成されました。

成人会員はもとより、小、中学生も、少年団活動などで他の活動で関わりが難しくなる中、親子で楽しむ方向にシフトし、今日まで精力的に活動を続け、西春別地区敬老会を初めとする地区行事のほか町内外を問わず多岐にわたり精力的に活動を続け、長年にわたり地域を盛り上げ、文化の向上に貢献し、今後一層の活躍が期待されます。

次に、資料9ページ、文化奨励賞、団体2団体目、尾岱沼下の句かるた少年団に所属する竜神の翔です。

竜神の翔は、平成30年2月に札幌市で開催されました、第21回北海道子どもかるた大会において、小学生の部で、全道から集まった強豪チームを破り優勝するという輝かしい成績を収めています。

次に、資料11ページ、文化奨励賞、団体3団体目、別海町立中春別

小学校リコーダー同好会です。

別海町立中春別小学校リコーダー同好会は、平成21年11月に中春別小学校、豊原小学校、美原小学校が統合した際に設立し、平成30年1月に開催された第32回全道リコーダーコンテストで金賞を受賞し全国大会出場の推薦を受け、平成30年3月に第39回全日本リコーダーコンテストで銀賞を受賞しています。

以上で文化功労者表彰被表彰候補者についての説明を終わります。

伊藤教育長

内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

御質問等がなければ採決いたします。

議案第2号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

伊藤教育長

異議がないようですので、議案第2号について原案のとおり決定することといたします。

続きまして、議案第3号平成30年度別海町スポーツ功労者表彰被表彰者の決定について、事務局から説明願います。

生涯学習課主査

議案第3号について説明いたします。

10月24日に開催されました社会教育委員会議におきまして、別海町スポーツ功労者表彰に係り、別海町スポーツ功労者表彰被表彰候補者1個人、別海町優秀選手賞被表彰候補者8個人につきまして諮問しましたところ、議案書5ページに掲載しております答申書写しのとおり答申されたことから、被表彰者を決定するものです。

それでは議案書4ページをお開きください。

議案第3号平成30年度別海町スポーツ功労者表彰被表彰者の決定について、別海町スポーツ功労者表彰規則第4条の規定に基づき、被表彰者の審査について、平成30年10月24日開催の別海町社会教育委員の会議に諮問した結果、別紙のとおり答申があったので次のとおり被表彰者を決定する。

続いて被表彰候補者について説明いたしますので、資料の12ページをご覧ください。

はじめに、功労者表彰候補、菅野春江さんです。

功績、平成3年4月、別海町サイクリング協会設立から副会長を務め、平成15年4月から10年間会長としてサイクリング協会の基礎を作りました。根室サイクリング協会理事も務められ、健康で心豊かな生涯スポーツサイクリングの普及、促進に多大に貢献されました。

また、別海町体育協会理事としても力量を発揮され、今後更なる活躍が期待されます。

平成18年からは、別海町パークゴルフ協会事務局次長として8年間、平成25年には全国ラジオ体操連盟公認ラジオ体操指導員並びに1級ラジオ体操指導士を取得され、後進の指導、育成にも大変期待されており、現在はラジオ体操参加日数1,950日と広く地元の健康増進に努められています。

続きまして優秀選手賞候補者、前嶋大陸さんです。

功績につきましては、平成30年1月13日から1月14日に開催された第40回北海道スポーツ少年団スピードスケート大会、中学生男子1,000メートルで第1位の成績を収めております。

続きまして、同じく優秀選手賞候補者、佐藤哲太さんです。

功績につきましては、平成30年2月17日から2月18日に開催された第4回全日本ノービススピードスケート競技会、小学6年生男子1,000メートルで第6位の成績を収めております。

続きまして、同じく優秀選手賞候補者、阿部春琉斗さんです。

功績につきましては、平成30年1月13日から1月14日に開催された第40回北海道スポーツ少年団スピードスケート大会、小学5年生男子1,500メートルで第1位の成績を収めております。

続きまして、同じく優秀選手賞候補者、小島楓さんです。

功績につきましては、平成30年1月13日から1月14日に開催された第40回北海道スポーツ少年団スピードスケート大会、小学5年生女子500メートルで第1位の成績を収めております。

続きまして、同じく優秀選手賞候補者、橋本姫桜さんです。

功績につきましては、平成30年1月13日から1月14日に開催された第40回北海道スポーツ少年団スピードスケート大会、小学4年生女子1,000メートルで第1位の成績を収めております。

続きまして、同じく優秀選手賞候補者、小島幹太さんです。

功績につきましては、平成29年12月10日に開催された第15回世界ジュニア記念北海道小中学校スピードスケート競技大会、小学3年生男子1,000メートルで第1位の成績を収めております。

続きまして、同じく優秀選手賞候補者、大森悠斗さんです。

功績につきましては、平成30年7月15日から7月16日に開催された第36回北海道小学生陸上競技大会、小学5年生男子走り幅跳びで第1位の成績を収めております。

続きまして、同じく優秀選手賞候補者、佐藤一基さんです。

功績につきましては、平成30年9月24日に開催された第39回全

日本マスターズ陸上競技選手権大会、M35歳以上400メートルハードルで第2位の成績を収めております。

以上、被表彰候補者について説明いたしました。

社会教育委員の会議からの答申に基づきます被表彰者の決定につきまして御審議いただきたいと思っております。

説明は以上です。

伊藤教育長

内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

御質問等がなければ採決いたします。

議案第3号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

伊藤教育長

異議がないようですので、議案第3号について原案のとおり決定することといたします。

続きまして、協議案第1号第4次別海町社会教育中期振興計画の策定に伴う諮問について、事務局から説明願います。

生涯学習課主幹

協議案第1号第4次別海町社会教育中期振興計画の策定に伴う諮問について説明いたします。

平成21年度から、自らを高め学びあい、協働に創る希望のふるさと別海をめざし、10年間にわたって推進してきました第3次別海町社会教育中期振興計画は、平成30年度で計画期間の満了を迎えます。

この間、私たちを取り巻く環境は変化し続けており、地域のつながりが希薄化する中、生涯学習を推進し、地域や人をつなぐ取り組みの必要性が増しています。

また、新しい時代に即した知識や技術教養を高め、心の豊かさや生きる力を育むためにも、社会教育の果たすべき役割は大きくなっています。

これらのことから教育委員会では、時代の変化に対応できる新たな社会教育を推進するため、平成31年度から今後10年間を計画期間とする第4次別海町社会教育中期振興計画を策定することとし、別海町社会教育委員の会議に諮問するものです。

議案及び諮問文案を読み上げます。

議案書6ページになります。

第4次別海町社会教育中期振興計画の策定に伴う諮問について、第4次別海町社会教育中期振興計画の策定にあたり、別海町社会教育委員の会議に諮問したいので協議する。

7ページをご覧ください。

諮問文案となります。

第4次別海町社会教育中期振興計画の策定について、諮問理由、近年、情報通信技術の発達や価値観、ライフスタイルの多様化など、私達を取り巻く環境は変化し続けています。また、地域のつながりが希薄する中、生涯学習を推進し地域や人をつなぐ取り組みの必要性が増しています。

こうした状況の中、新しい時代に即した知識や技術教養を高め、時代の変化に対応できる新たな社会教育を推進するため、第4次別海町社会教育中期振興計画の策定について諮問いたします。

以上で協議案第1号の説明を終わります。

伊藤教育長

内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

御質問等がなければ採決いたします。

協議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

伊藤教育長

異議がないようですので、協議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

－【その他】－

伊藤教育長

それでは議事については全て終了しましたので、日程第5その他に入ります。

事務局から何かございますか。

(その他なし)

伊藤教育長

委員さんから何かございますか。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

それでは以上で本日予定していました案件については全て終了しました。

これをもちまして、第13回教育委員会議を閉会いたします。

皆さん御苦勞様でした。

－【閉会】－